

Well met!

発行元 ふれあいハート 2019.5

広報誌デビュー

いよいよ「令和」が始まりました。目の前の景色は昨日までと何も変わらないのに、なぜか新鮮な気持ちで物ごとを考えられるような気がします。

さて、新しい時代を迎えたこのタイミングで、2018年4月よりアシストの社内報として毎月発行してきた「Well Met!」が社内報の枠を超え、自立支援事業部門（今年度よりアシストは介護保険事業と自立支援事業の2部門に分かれて専門性の向上を目指しています）の広報誌としてリニューアルされました「やあ！いい場所であつたね！」という意味の「Well Met!」には、この広報誌がアシストと皆さまの出会いや交流のきっかけの場となるように、という願いが込められています。

平成時代はインターネット、SNSなどの普及で顔と顔を合わせなくても誰かと知り合い、コミュニケーションが取れるようになった時代でした。それはとても便利で私たちの生活にとっては欠かせないものとなりました。そんな平成の後の新時代には一体どんなコミュニケーションツールが生まれるのか、今からわくわくします。

その一方でこの仕事をしていると、相手と直接会って話すことの大切さも痛感します。メールで何度も文章を作り直し、こちらの思いを精一杯伝えた！と思っても、実際は全く違う風に相手に伝わっている、なんていう経験を何度もしてきました。例え、嫌な内容の話であっても相手の顔や表情、反応を見て話をしていると不思議と気持ちが柔らかくなり、思っていたより悪くない方向に話が向くことも少なくない気がします。

今年度、アシストはSNSなどを最大限に活用し、法人のことや事業内容についてももっともって皆様を知って頂くことを今年度の事業目標の一つに掲げています。メールやSNSとうまく付き合いながら、皆さまと顔を合わせて話をする機会も大切にして、この令和の時代をアシストと皆さまが「美しく心を寄せ合いながら過ごしていけることを心より祈っております。



「ありがとう」を伝えよう

1月～3月、職員間で「ありがとう」を伝え合うプロジェクトが行われました。日頃の何気ない「ありがとう」の気持ちを“ポジカード”で伝え合う企画です。たまった“ポジ”は「100ポジ＝100円」に換算してアシストからカードをもらった職員に支給されました。ポジカードに書き込まれた1人ひとりへの感謝の言葉には、普段は口にしないさりげない「ありがとう」が詰まっていた。

3ヶ月間で送られた“ポジカード”は全部で970枚になりました。ふれあいハートでは今後も、このような取り組みを職員とともに企画していきます。



HP・SNSがリニューアル

5月より、ふれあいハートのホームページとfacebookが、リニューアルしました。デザインも一新し、それぞれの事業所の取り組みや、アシストと職員の願いや想いを全てのページに盛り込んでいます。また、ブログもスタートし、活動の様子などみなさまに知っていただけるように、どんどん発信していきます。

ふれあいハートのホームページにアクセスするには、URL (<http://assistnpo.org/>) の入力が不要な、QRコードが便利です。

是非、ホームページまで遊びに来てください。



新入職員の紹介



長崎紀子
(ながさきのりこ)

新しい出会いを大切に、子どもたちの成長を見守っていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



福垣和代
(ふくがきかずよ)

子ども達が笑顔で過ごせるような環境作りに取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

魅力溢れる新入職員と共にこれからも頑張っていきます。よろしくお祈りいたします！



事業所紹介

ふれあいハート

障害のある方、お子様のさまざまな困りごとについて相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスを利用するための計画の作成などをおこないます。相談支援専門員が親身に話を聴き、一緒に解決策を考え、利用者さんのペースに合わせて一緒に歩いていきたいと思っています。今年度もよろしく願いいたします。

2019年度 スタッフ紹介

管理者・相談支援専門員

坂本晴佳(社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士)

相談支援専門員

梶巻美代子(介護福祉士)



亀岡市障害福祉サービスセンター

ヒーローズ JAPAN

2017年4月、すべての人たちが誰かの「大切な人」であり続けるために、誰かの「必要な人」となるためのお手伝いをしたい、と利用者9名でコーヒー事業からスタートしたヒーローズ japan。現在の利用者は24名となり、配食・お弁当事業も行っています。

コーヒー販売は、ぶらり嵐山、新光悦村、道の駅「和」「さらびき」、美山ふれあい広場、その他イベント等で行っています。

お弁当配達は、個人宅、市役所、社会福祉協議会、企業、福祉事業所等、亀岡市・南丹市圏域に広がっています。

生活訓練では、生活スキルを身に付けるためのプログラム、外食や行事など多様なプログラムを用意しています。



放課後等デイサービス 33

「るる」は広い空間を活かし、ボール遊びや跳び箱など身体を使った遊びを多く取り入れています。また、静かに過ごしたい児童には個別で過ごせる空間も準備しています。活動面では一人一人の個性を發揮出来る様工作などの作品作りや、調理実習を取り入れています。

るるでの過ごしを通して自分らしく、また日常生活上におけるルールや生活習慣を身につけることができるように支援を行っております。

学習面については、集中して勉強ができる環境作りをし、幅広い年齢の子ども達が日々刺激し合いながら楽しく過ごせるように心がけています。



放課後等デイサービス 第2ふれあいハート

第二放課後等デイサービスふれあいハートでは、調理活動・工作・クッキング(お菓子作り)・運動遊びと、日常でも生かせる力をつけられるような様々な活動に日々取り組んでいます。

人との関わり・コミュニケーションを取れる機会を増やせるように、役割分担や自由遊びの内容もみんなで話し合っていて決めています。明るい事業所です。子どもたちの笑顔が溢れ、みんなが楽しく「通いたい」と思える事業所を目指していきます。



放課後等デイサービス 第3ふれあいハート

第三放課後等デイサービスふれあいハートでは、療育プログラム“Sunny”を行っています。豊富な遊具や知的好奇心をくすぐる面白い教材を活用し、学習や生活の土台となる力作りに重点を置いています。

“Sunny”には子どもたちが陽の光に満ち溢れますようにとの願いを込めているのですが、苦手だった事が出来た時に見せる満面の笑顔は輝きに満ちています。

これからも笑顔あふれる事業所を目指して邁進していきます。



(※写真くくと合同)

児童発達支援事業所 くくあ

児童発達支援事業所「くくあ」は、明るい笑い声が響き合う未就学児の療育教室です。1人ひとりの興味・関心を大切に、個性や特性に応じた小集団療育を行っています。子どもたちの心、体、コミュニケーション・社会性、遊び、身辺自立、学習の基礎能力、そして自己肯定感を豊かに育てていきます。家庭や保育園・幼稚園との連携にも力を入れ、保育所等訪問も行っています。

子育てひろば「まな」は、地域の未就学児とその保護者を対象として毎週火曜日に「くくあ」で開催しています。昨年度は亀岡市支え合いまちづくり支援事業の交付を受けました。「きりり☆亀岡お知らせ」に掲載案内を掲載しています。

《2019年度 スタッフ紹介》

児童発達管理責任者・保育士 1名 作業療法士 1名
保育士 3名 社会福祉士 1名 ※写真左



<編集後記> 史上初の10連休のしめくり、研修で名古屋に行きました。コミュニケーション能力の育みについて学んだ後は、名物を求めて市内を移動。「道路率」日本一の広い道路には、薫風が爽やかに吹きわたっていました。亀岡といえば出雲大社の「日本一の縁結び」。大国さまが結ぶのは「人間が立派に成長するように、社会が明るく楽しいものであるように、お互いの発展のためのつながり」だとか。みなさまとアシストが良縁に恵まれますように。